

～町民インタビュー～

災害対策用  
プライベートル

Vol.18

次世代に伝える  
防災の輪



防災活動のやりがいは

現役時、勤務先が食品メーカーだったことから、添加物でなく自然を活かした食品の日持ち向上に、各食品メーカーが競っていました。課題解決する取組みにやり甲斐がありました。様々な食品企業の新規市場を支援することで、ソリューションビジネスとして新たな柱商品に育ち、食品ロスを軽減するヒット商品を開発することが自ずと生き甲斐になりました。防災・減災も安全安心を継続するには、担い手を育てることが真髄であり、やり甲斐です。

防災ボランティアの会活動内容は

現在は「啓発訓練部会」「ウオッチング部会」「家具固定部会」「ボランティアコーディネーター部会」「Zoom部会」の5部会で構成され、防災リーダー養成講座や防災・減災カレッジ修了者、防災士などで組織され、町全体の防災力の向上を目指して活動しています。

会員の高齢化対策は、新会員の入会です。是非みなさんのご入会をお待ちしています。

活動して期待することは

毎年、保育園・小・中学・高校を対象に、会の各部連携で防災学習に取り組んでいます。保育園児には紙芝居や煙体験、小中学生や高校生には、その年齢に合わせた防災学習や訓練などを進めています。支援活動は防災の輪を広げ、子どもたちから家庭に持ち帰っても

らうことで、家庭や地域での防災活動への意識が高まることを期待しています。

地域自主防災会や、憩いのサロンへの防災出前講座も地域防災力の強化が目的です。

行政にはどうあって欲しい?

私は、住民がどうやって町を支えるかが重要であると思います。行政のできない点をわれわれのような、ボランティアが補填する。そうした活動に必要なものが理解されているか。例えば「提案型協働事業」で採択評価を得た事業をどう継続するか。活動に必要な資機材への支援などがあれば、より充実した官民活動になるのではないのでしょうか。

今後の活動は

最近の防災計画では、要介護などの社会福祉と防災活動は大きく関わってきています。

縦割りといわれる行政を、防災の視点から後押しできればと思っています。

プロフィール 鈴木重久さん  
Suzuki Shige-hisa

出身 武豊町。77歳  
武豊町防災ボランティアの会 会長  
武豊町選挙管理委員会 委員長

募集中! 議員と一緒にまちのことを考えてみませんか?  
～令和6年度 住民対話集会～

【日時】12月21日(土) 9時45分～  
(9時30分受付開始)

【参加方法】WEB申込み  
お電話(役場議会事務局まで)

【場所】地域交流センター 多目的ホールABC

詳細・申込みはこちら▶

